



加茂小学校校報第〔11〕号

嬢 村尾 隆晃

か もだいすき
も りもりげんき
の びのびやさしい
こ つこつまなぶ

令和4年7月1日

加茂っ子



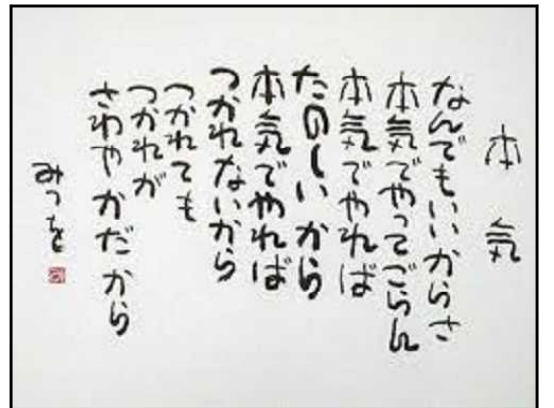
今福座 和太鼓鑑賞

日本の伝統芸能を楽しもう!!



◇子どもたちに優れた舞台芸術を鑑賞し、本物に触れる機会を得ることで、発想力やコミュニケーション能力、芸術鑑賞能力の向上をねらったの公益財団法人しまね文化振興財団島根県民会館文化事業課の芸術家学校派遣事業が加茂小学校にやってきました。今回は県西部の益田市匹見町から今福座のみなさんにおいていただき「和太鼓演奏」を鑑賞しました。

体育館で響く太鼓の音が、校長室まで地面を伝わって響いていました。実際に体育館で鑑賞すると、足下からおなかに向かってずんずん突き上げてくるような迫力ある太鼓の響きに圧倒されました。3人で演奏されたのですが、梅雨が明け30℃近い猛暑の体育館で、座長の今福さんは一曲が終わるたびに大きく息をしておられ、和太鼓演奏がどれだけ過酷で重労働なのかが伺えました。今回コロナ対策のため5・6年生とすすく学級の鑑賞となり、1～4年生、にこにこ学級は残念ながら鑑賞することができませんでしたが、きっとどの教室にも勇猛な太鼓の響きが届いていたことと思います。



実際に太鼓に触れる機会を得て、得意げに演奏する子どもたちもいました。和太鼓を叩くというとても貴重な体験をさせていただいたと思います。

全身全霊を傾けて太鼓を叩かれる今福さんのエネルギーに5・6年生、教職員共に感銘を受けました。子どもたちに『何でも一生懸命本気でやって世界に一つしかない命を輝かせてほしい、その習慣は今（小学校の時）しか身につけることはできない』との熱いメッセージをいただきました。以下に鑑賞を終えての子どもたちの感想（抜粋）を紹介します。



◇いまふくさんのたたかるところが、カッコよかったです。しんぞうにひびいてくるおとでした。おとのひびきが、ゆかをつたわってきたのがすごかったです。ぼくはそれをきいてうれしかったです。(すすく学級4年：石原良文さん)



◇今福さんへ、この度は、和太鼓の演奏をきかせてくださって、ありがとうございました。～中略～ぼくは、前に出て太鼓をうつことができました。心がつうじあうのがにんげんだとおしえてもらって、「なるほど。」と思いました。すてきな時間をありがとうございました。(すすく学級5年：石飛隼 平さん)

◇～前略～ぼくは、和太鼓や篠笛の音が、心の中までひびきました。迫力のある演奏で、和太鼓も大きくて、すごく力を使っておられるなあと思いました。～中略～太鼓をたたいたり、おど

ったりしてめちゃくちゃ楽しかったです。ストレスは皆さんのパッションが楽しくて、良い思い出になりました。(5-1：諸遊健瑠さん)

◇ぼくは、わだいこをきいたことはありますが、うったことはなかったので、生まれて初めての体験でした。たいこは体全体でうち、たいこの音で気持ちをとどけるということがわかりました。～中略～ひさしぶりに大声をあげてむねがすっきりしたし、心にキーンとひびいて、また、機会があれば、音を聞いてふれたいです。～後略～(5-1：八森信宏さん)

◇今日初めて太鼓の演奏を聞きました。～中略～一生けん命生きることの大切さが改めて分かりました。今福さんの話を聞いて、一生けん命に生きれば、あんなにエネルギーにみちあふれてみんなを楽しませることができる人になれると思ったからです。～中略～ぼくは、これから今より何十倍、何百倍も一生けん命生きたいと思ったし、そのために気持ちを入れかえて今を生きたいと思いました。(5-2 小林珀翔さん)

◇～前略～自分たちには当たり前なのが、当たり前にはできない国の人もいるというお話を聞いて、その言葉が胸にひびきました。～中略～なので、これからわたしは、自分たちにとっての当たり前が、そうでない人もいるという事をよく考えながら生活したいと思いました。(5-2：佐藤結衣さん)

◇～前略～今福さんが出てこられて太鼓を鳴らされた時、体育館中にしんどうがきて、とてもびっくりしました。太鼓をうつ速さが速すぎてどうやったらあんなに速くできるのかふしぎになりました。今福さんや女性のお2人は、すごくどうどうとしておられて、ぼくも知らない人の前でもそんなふうにとどうどうとできるようにしていきたいです。～後略～(6-1：吉田琉羽来さん)

◇～前略～「すごい」と思うことが2つありました。

1つ目(はく力)…今福座さんたちがえんそうしていると、ゆかが「ジーン」「ジジジ」とふるえて心の中までひびいていく様でした。～中略～

2つ目(技術)…すばやい手の動きや、たたき方、技でみんなの目がくぎづけになるえん技でした。～中略～かっこいいなあと思いました。

今福さんのおっしゃった「一生けんめい」でがんばりたいなという気持ちになるえんそうでした。

(6-1：山本リリツ望愛さん)

◇～前略～体育館に入ったらたいこがずらりとならんでいました。ぼくは「すげー!!」と心の中で思いました。～中略～最初からはく力のあるえんそうだったのでびっくりしました。～中略～すごくはく力ある音が出ているのは、手の力だけではないと思いました。人に伝えようとする心だとぼく



は思います。～後略～(6-2：横山幸生さん)

◇～前略～体でたいこをうつなんてはじめて知りました。～中略～3人みんなが心を一つにえんそうをしていてすごいと思いました。よこぶえもたいこの音に負けずにいいえんそうでした。今思えば、前に出てたいこをたく代表9人に手をあげておけばよかったと思いました。～中略～またこのようなことがあったら、次は手をあげたいです。

(6-2：内田智也さん)